

令和5年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告



市民協働推進補助金とは・・・社会に役立つ活動を行う団体の取り組みを資金面からバックアップするための補助金です。清掃活動、地域を活性化させるイベント、子ども向けのプログラミング教室などの取り組みに活用されています。

補助金の種類	市民活動スタート支援 (つつじ) 補助金	市民活動ネクスト支援 (くすのき) 補助金	市民活動若者支援 (わかば) 補助金
補助の対象となる活動	設立5年未満の団体が行う公益的な社会貢献活動。	設立後2年以上または設立後2年未満で過去につつじ補助金の交付を受けた団体が行う公益的な社会貢献活動。	若者が行う公益的な社会貢献活動。
補助率	10/10	1回目 2/3 2回目 1/2 3回目 1/3	10/10
補助上限額 (1回につき)	5万円	30万円	原則10万円
補助回数	同一団体1回のみ	同一事業3回まで	同一事業3回まで

令和5年度に市民協働推進補助金の交付を受けた団体と実施事業一覧

補助金の種類	団体名	事業名	ページ
つつじ	犬ハピ実行委員会	Wish Dog happiness 犬ハピ Vol.3	2
つつじ	本郷お互いさまの会	本郷お互いさまの会	5
つつじ	ほのぼのサロン	ほのぼのサロン	7
つつじ	一般社団法人移住者人材バンク	ワークショップ・自分の住むまちのことを知ろう～ 親子で学ぶ情報リテラシー	9
つつじ	吉田城の堀さげ隊	吉田城跡お掃除プロジェクト	12
つつじ	一般社団法人グラスルーツ とよはし	2023 全国ウィンターカーニバル in とよはし	14
つつじ	カナデアンサポーターズクラブ	八町アート学校	16
つつじ	八町マルシェ	八町こどもマルシェ	18
つつじ	いいばしょ渡船村祭り	いいばしょ渡船村祭り	20
くすのき	リバーサイドボランティア (RSB)	豊川河川敷の清掃整備活動	23
くすのき	豊橋商工会議所青年部	豊橋愛で未来のまちづくり	25
わかば	豊商プログラミング教室	豊商プログラミング教室	27
わかば	SDGs 新商品クラウド ファンディング・プロジェクト	SDGs 新商品クラウド ファンディング・プロジェクト	29
わかば	カーボンニュートラル研究会	言語・性別・年齢関係なし! SDGs を遊んで学ぶ SDGs モルックの実装!	31

団体名	犬ハピ実行委員会
事業名	Wish Dog happiness 犬ハピ Vol.3

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>動物虐待、ペットに対するネグレクトを減らすため犬猫保護団体のチャリティイベントを開催する。</p> <p>令和5年12月10日 10:00~15:00 チャリティイベント「Wish Dog happiness 犬ハピ Vol.3」を開催 来場者 4,011名</p> <p>保護団体によるチャリティーバザー、犬猫譲渡会、動物福祉を学ぶブースの他、一人でも多くの来場者を集めるため、犬猫関連グッズの販売ブースやキッチンカーに参加してもらい、競輪コースの中にはドッグランやフォトスポットを設置。仮装ボランティアの「鬼滅隊」は動くフォトスポットとして来場者の撮影に応えた。</p> <p>本部では募金と犬猫のための支援物資を募り、それらは犬猫保護団体に寄付した。豊橋市保健所も初めてブースを出し、新たに建設される愛護センターのクラウドファンディングの呼びかけや、ペットの災害時の対策についてのパネル掲示など行った。仮設のステージでは動物絵本の読み聞かせ、犬のしつけ教室、紙芝居、保護犬についての講座を行った。保護活動に取り組む女子競艇選手の協力で見守りのグッズのチャリティーオークションやトークショーも行った。</p> <p>総事業費：166,779円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>保護団体の譲渡会において、里親を希望する申し込みが22件あり、スムーズにその後のトライアルに進むことができた犬猫もいた。</p> <p>集まった募金は全て保護団体に分配して寄付する。団体の活動においての犬猫の医療費や飼育のための物資の購入に役立てていただく。支援物資も相当数集まり、イベント終了後に参加保護団体に分配してもらった。</p> <p>ドッグランは犬の逃走防止のための対策もしっかりしたため、来場者から安心して犬を遊ばせることができると大好評だった。初めてドッグランを使った人と犬にとっては犬同士の挨拶や触れ合いの練習の場となった。</p> <p>フォトスポットは団体員の手作りではあったが、こちらも大好評で来場者は必ずと言ってよい割合で愛犬の撮影を楽しんでいた。豊橋市のクラウドファンディングに対する来場者の関心も大きく、告知のチラシもすぐになくなったとのことである。</p>

今後の見通し	<p>飼い主のマナーもとてもよく、会場が汚れたりトラブルが起きることはなかった。</p> <p>来場者からは、動物福祉、同物愛護について考えるきっかけになったとの意見があった。その他、当団体が目指す目的が具現化している事項もあり、継続していくことで目的を根付かせることができると捉えることができた。</p> <p>ステージの場所を前回の Vol.2 から変えたことで、前回より多くの聴衆をみつめることができ、次回はさらに内容を充実させたい。</p> <p>一番大きな課題として今後対策していかなければならないのはボランティアの不足である。一部ボランティアから、長時間であり重労働であったとの意見があったので、次回は交代で休憩を取れるくらいの人数を集めたい。</p> <p>来場者は回を重ねるごとに増えているが、理念や目的を共有できる主催する側の仲間を集めることはなかなか難しい。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の様子がわかる写真資料



イベント告知チラシ

令和5年12月10日 Wish Dog happiness 犬ハピ Vol.3の様子



市長表敬訪問



募金の受付



仮装ボランティア



支援物資回収



保健所ブース



保護団体ブース（啓発ブース、犬猫譲渡会）



フォトスポットでの撮影の様子



ステージプログラム

団体名	本郷お互いさまの会
事業名	本郷お互いさまの会

項目	内容																																				
事業の概要 (取組みの内容)	<p>地域住民同士の連携を強化することを目的とする「ちょっとしたお困りごと」を解決する活動母体を創出し、本郷地域での助け合い活動や清掃活動を行う。</p> <p>令和5年</p> <table border="0"> <tr> <td>5月28日</td> <td>8:00~9:00</td> <td>公園清掃</td> <td>37名参加</td> </tr> <tr> <td>5月30日</td> <td>9:00~11:00</td> <td>個人宅での伐採、樹木搬出</td> <td>4名参加</td> </tr> <tr> <td>8月7日</td> <td>8:00~10:00</td> <td>個人宅での網戸交換</td> <td>6名参加</td> </tr> <tr> <td>8月20日</td> <td>8:00~9:00</td> <td>公園清掃</td> <td>28名参加</td> </tr> <tr> <td>9月27日</td> <td>9:00~10:00</td> <td>公園清掃</td> <td>15名参加</td> </tr> <tr> <td>10月23日</td> <td>13:15~14:00</td> <td>公園清掃</td> <td>11名参加</td> </tr> <tr> <td>11月26日</td> <td>8:00~9:00</td> <td>公園清掃</td> <td>26名参加</td> </tr> <tr> <td>12月27日</td> <td>13:00~14:00</td> <td>公園清掃</td> <td>12名参加</td> </tr> </table> <p>令和6年</p> <table border="0"> <tr> <td>2月25日</td> <td>8:00~9:00</td> <td>公園清掃</td> <td>11名参加</td> </tr> </table> <p>※その他、年間を通して個人宅のお困りごと51件の作業を実施</p> <p>総事業費：95,963円（内補助金：50,000円）</p>	5月28日	8:00~9:00	公園清掃	37名参加	5月30日	9:00~11:00	個人宅での伐採、樹木搬出	4名参加	8月7日	8:00~10:00	個人宅での網戸交換	6名参加	8月20日	8:00~9:00	公園清掃	28名参加	9月27日	9:00~10:00	公園清掃	15名参加	10月23日	13:15~14:00	公園清掃	11名参加	11月26日	8:00~9:00	公園清掃	26名参加	12月27日	13:00~14:00	公園清掃	12名参加	2月25日	8:00~9:00	公園清掃	11名参加
5月28日	8:00~9:00	公園清掃	37名参加																																		
5月30日	9:00~11:00	個人宅での伐採、樹木搬出	4名参加																																		
8月7日	8:00~10:00	個人宅での網戸交換	6名参加																																		
8月20日	8:00~9:00	公園清掃	28名参加																																		
9月27日	9:00~10:00	公園清掃	15名参加																																		
10月23日	13:15~14:00	公園清掃	11名参加																																		
11月26日	8:00~9:00	公園清掃	26名参加																																		
12月27日	13:00~14:00	公園清掃	12名参加																																		
2月25日	8:00~9:00	公園清掃	11名参加																																		
事業の成果等	<p>高師・芦原校区への回覧版で「チラシ」を配布したことで地域からさまざまな「お困りごと」が寄せられるようになった。</p> <p>地域の民生委員の協力により、独居老人の方々の要望が寄せられるようになり、たいへん感謝をされている。</p> <p>協力会員も97名が登録され、公園清掃を中心に参加が増えつつある。</p>																																				
今後の見通し	<p>地域に活動が浸透しつつあるが、劇的な変化には至らず、今後、協力会員がチラシを近隣に投函して、さらに要望をくみ取りたい。</p> <p>地域の小中学校生にも呼び掛けて、地域の清掃活動などへ若年層の参加協力をよびかけていきたい。</p>																																				

事業の様子がわかる写真資料



令和5年8月20日 公園清掃28名参加
予想以上に「落ち葉」が多く、90ℓのゴミ袋22袋分を収集



令和5年11月26日 公園清掃26名参加



令和6年2月25日 公園清掃 本団体と就労支援インクルとの合同で実施 11名参加

団体名	ほのぼのサロン
事業名	ほのぼのサロン

項目	内容																																				
事業の概要 (取組みの内容)	<p>高齢者の身体機能の低下や認知機能の低下、意欲低下が懸念されているため、これらを解決するため交流の場として「ほのぼのサロン」を開催する。(毎月原則第4土曜日開催)</p> <p>令和5年</p> <table border="0"> <tr> <td>4月22日</td> <td>創作教室、ハーモニカと歌う他</td> <td>21名参加</td> </tr> <tr> <td>5月27日</td> <td>マジックショー、健康体操他</td> <td>22名参加</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>七夕飾り作り、健康体操、ハーモニカ他</td> <td>21名参加</td> </tr> <tr> <td>7月22日</td> <td>包括支援センター出前講座、ハーモニカ他</td> <td>21名参加</td> </tr> <tr> <td>8月26日</td> <td>室内ゲーム、健康体操他</td> <td>20名参加</td> </tr> <tr> <td>9月23日</td> <td>包括支援センター出前講座、ダーツ、輪投げ</td> <td>18名参加</td> </tr> <tr> <td>10月28日</td> <td>ハロウィン仮装、健康体操他</td> <td>17名参加</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>松ぼっくりでクリスマスツリー作成他</td> <td>18名参加</td> </tr> <tr> <td>12月23日</td> <td>ピアノと楽しく歌う、健康体操他</td> <td>19名参加</td> </tr> </table> <p>令和6年</p> <table border="0"> <tr> <td>1月27日</td> <td>お正月遊び、ハーモニカ他</td> <td>22名参加</td> </tr> <tr> <td>2月24日</td> <td>折り紙工作、健康体操、ハーモニカ他</td> <td>19名参加</td> </tr> <tr> <td>3月23日</td> <td>ビンゴゲーム、健康体操他</td> <td>22名参加</td> </tr> </table> <p>総事業費：106,391円 (内補助金：50,000円)</p>	4月22日	創作教室、ハーモニカと歌う他	21名参加	5月27日	マジックショー、健康体操他	22名参加	6月24日	七夕飾り作り、健康体操、ハーモニカ他	21名参加	7月22日	包括支援センター出前講座、ハーモニカ他	21名参加	8月26日	室内ゲーム、健康体操他	20名参加	9月23日	包括支援センター出前講座、ダーツ、輪投げ	18名参加	10月28日	ハロウィン仮装、健康体操他	17名参加	11月25日	松ぼっくりでクリスマスツリー作成他	18名参加	12月23日	ピアノと楽しく歌う、健康体操他	19名参加	1月27日	お正月遊び、ハーモニカ他	22名参加	2月24日	折り紙工作、健康体操、ハーモニカ他	19名参加	3月23日	ビンゴゲーム、健康体操他	22名参加
4月22日	創作教室、ハーモニカと歌う他	21名参加																																			
5月27日	マジックショー、健康体操他	22名参加																																			
6月24日	七夕飾り作り、健康体操、ハーモニカ他	21名参加																																			
7月22日	包括支援センター出前講座、ハーモニカ他	21名参加																																			
8月26日	室内ゲーム、健康体操他	20名参加																																			
9月23日	包括支援センター出前講座、ダーツ、輪投げ	18名参加																																			
10月28日	ハロウィン仮装、健康体操他	17名参加																																			
11月25日	松ぼっくりでクリスマスツリー作成他	18名参加																																			
12月23日	ピアノと楽しく歌う、健康体操他	19名参加																																			
1月27日	お正月遊び、ハーモニカ他	22名参加																																			
2月24日	折り紙工作、健康体操、ハーモニカ他	19名参加																																			
3月23日	ビンゴゲーム、健康体操他	22名参加																																			
事業の成果等	<p>地域で交流出来る場所がなく、地域住民から交流の場を作れないかと話が上がり、活動を検討した。</p> <p>交通の便が良くないため、送迎などの支援がないと交流の場に参加することが難しく、そのために要介護認定を受ける方もいた。</p> <p>サロンを開始したことにより、参加者の中で知らない方同士が顔見知りになり、親交を深めることが出来た。</p> <p>始めはサロンに参加するだけだった方が、スタッフの手伝いをするようにもなり、活動の機会や楽しみをもつようにもなった。</p> <p>サロンに来ることを楽しみにしており、サロンで行う健康体操などを参考にして身体機能維持のための取り組みを自ら行う方も出て来た。</p>																																				
今後の見通し	<p>地域の方以外にも口コミで参加される方がいたり、出前講座やイベントを行って下さるボランティアも増えて来た。</p> <p>地域の子どもが参加してもらえるように声掛けや取り組みを行ってきたが、参加数が少なかったため、今後も多世代交流が行えるようにイベントを工夫し、自宅で閉じこもりがちな方への勧誘を続けていく。</p>																																				

事業の様子がわかる写真資料



ほのぼのサロン
令和5年4月22日
「しょうぶの絵書き」
作品を持って記念写真。

ほのぼのサロン
令和5年6月24日
「七夕飾り」
ハーモニカの演奏を楽しみながら
折り紙で飾りを作り、
笹に飾り付けしました。



ほのぼのサロン
令和5年10月28日
「ハロウィン仮装」
思い思いの仮装で
記念撮影

ほのぼのサロン
令和5年10月28日
「つかみ取りゲーム」
お菓子のつかみ取り中。
真剣です。



ほのぼのサロン
令和5年11月25日
「健康体操」
身体を動かして
気分もリラックス

団体名	一般社団法人移住者人材バンク
事業名	ワークショップ・自分の住むまちのことを知ろう～親子で学ぶ情報リテラシー

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>豊橋市に移住してきた親子が、楽しみながら豊橋に対して愛着を持てるよう、市の人気スポットや行事などの情報を調べるワークショップを開催する。</p> <p>令和5年8月6日 13:30～15:30、豊橋市まちなか図書館ワークショップスペースにおいて、ワークショップを開催。参加者は親子8組（大人8名、子ども14名）、その他、聴講4名の参加があった。</p> <p>ワークショップは、施設の担当者から挨拶の後、前半と後半に分けてそれぞれ1時間ずつ実施。</p> <p>前半は最近のトレンドでもある生成系AIやディープフェイクによる脅威について話題提供があった。最近の技術では写真から動画の生成もできるといった実例や、実際の報道を用いて考える時間もあり、生成系AIで実際に加工生成されたフェイク動画を見る場面では子どもたちも含めて参加者全員が真剣に聞き入っていた。</p> <p>後半は Wikipedia（ウィキペディア）というメディアの特性に触れ、出典のない情報を鵜呑みにせず、本当に掲載されている情報が確かなのか向き合う姿勢が重要であるとの解説の後、実際に豊橋に関するいくつかの Wikipedia 上の項目のうち、親子1組ずつで出典のない情報をまちなか図書館の蔵書などを使って調べるグループワークを実施。</p> <p>今回の調査対象となった項目は下記のとおりであり、参加者によって特定できた項目について海獺氏がその場で Wikipedia の情報に出典をつける場面もあった。</p> <p>【豊橋に関する Wikipedia 上の項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> • PLAT • 豊川用水 • 豊橋駅 • 二川宿 • 古関金子 • 瓜郷遺跡 • 吉田神社 <p style="text-align: center;">総事業費：50,943 円（内補助金：50,000 円）</p>
事業の成果等	<p>事業を実施した結果、参加した保護者の多くから「インターネットや SNS の利用について考え直したい」「Wikipedia をはじめとしたネット上の情報について常に真偽を問う姿勢を持ちたい」といった声が寄せられた。</p> <p>参加された子どもからは「難しかった」という声も聞かれたものの、「楽しかった」「インターネットの怖さがわかった」「スマホを持ったら気をつけようと思った」という感想があった。親子での情報リテラシーの向上については一定の効果を得られたと思われる。</p> <p>後半のワークショップでは電車が好きな子どものいる親子のペアでは豊橋駅、音楽が好きな子どものいる親子のペアでは PLAT に取り組んでもらい、二川宿については写真を見ながら参加した親子同士で会話をしている場面も見られ、コミュニティ形成にも資することができたと思われる。</p>

今後の見通し	<p>今回、参加者のうちターゲットにおいた「豊橋市内に移住して5年未満」に該当する方はおらず、8組の内4組が豊橋市に移住して5年以上を経過しており、また4組はもともと市内出身の家族だった。</p> <p>これについては事業の告知期間が短かったこともあるが、対象となる移住者に向けた更なる情報発信が課題であると感じた。</p> <p>なお、参加者のうち、瓜郷遺跡について「知っていた」方は1名のみで、「行ったことがある」と回答した人は0名だった。ワークショップ後瓜郷遺跡について取り組んだ親子だけでなく、数組が帰りに訪れてみたいと話しており、市内の文化資産について実際に足を運ばせる、知ってもらう工夫も今後取り入れていきたい。</p> <p>今後は引き続き移住者に関する交流の場の提供や情報発信を通じ、移住者がより定住しやすく、まちに愛着を持てるような取り組みを続けていく。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の様子がわかる写真資料



令和5年8月6日に実施したワークショップの様子

団体名	吉田城の堀さげ隊
事業名	吉田城跡お掃除プロジェクト

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>吉田城の歴史的景観を「見える化」するため、豊橋市文化財センターの監修を受けて、吉田城の堀の清掃を行う。</p> <p>令和5年 10月7日 第1回堀さげ清掃イベント実施（参加者 30名） 12月19日、1月7日 ラジオエフエム豊橋にてイベント告知</p> <p>令和6年 1月13日 第2回堀さげ清掃イベント実施（参加者 130名） 1月14日 反省会 毎月一回 文化財サポーター定例会に参加</p> <p>総事業費：62,512円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>堀にたまった枯葉、倒木などを片付けることにより、景観がよくなり史跡の魅力を来場者に伝わりやすくすることが出来た。</p> <p>新聞掲載、文化財センターの他のイベント時にチラシを配布、SNS、ラジオ、口コミにより2回目の参加者は130名にも及んだ。</p> <p>1回目に参加いただいた方が2回目にも参加くださったこと、歴史好きの仲間も多く参加してくれたことにより、大きな問題なく活動することができた。ちびっこ武将隊や法螺貝奏者も加わり、イベントに華を添えた。</p> <p>豊橋市内外の世代を超えたたくさんの方がボランティア清掃を通じて文化財を大切にしようという同じ目的を持ち交流できる場所になったと感じた。</p>
今後の見通し	<p>参加人数の把握ができないと当日不安なので、ボランティア参加者との連絡方法を検討する。</p> <p>参加者の協力により予想を上回るゴミが集めるのが可能なため処分について公園緑地課との調整が課題となった。</p> <p>吉田城跡という文化財を美しく守り続ける活動をボランティアと続けて行いたい。</p>

事業の様子がわかる写真資料



令和5年 10月7日 清掃活動の様子

団体名	一般社団法人 グラスルーツとよはし
事業名	2023 全国ウインターカーニバル in とよはし

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>愛知県は中学生の新体力テストで最下位であり、他県スポーツ団体を誘致したサッカー大会を開催し、それぞれ取り組んできた成果や課題を確認するなど改善の機会とする。また、参加者に対して豊橋産の食文化や宿泊・観光施設を広く周知する。</p> <p>令和5年 12月27日～29日 2023 ウインターカーニバル in とよはし 開催</p> <p>27日 豊橋総合スポーツ公園（サッカー場、カモメ広場） 7団体 のべ200名参加</p> <p>28日 豊橋総合スポーツ公園（サッカー場、カモメ広場） 臨海運動広場 13団体 のべ330名参加</p> <p>29日 豊橋総合スポーツ公園（サッカー場、カモメ広場） 臨海運動広場 11団体 のべ240名参加</p> <p>総事業費：87,354円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>事業運営に関しては、3日間好天に恵まれ事故もなく無事に終える事が出来た。</p> <p>事業の目的である、青少年の運動体力、技能の向上は短期間で顕著な変化がみられるものではないが、同年代の他地域の青少年の活動を目の当たりにして、刺激を受け運動に対する前向きな姿勢が見られるようになったと感じられる。</p> <p>指導者側も他地域の指導者と情報交換の中で、青少年や地域性など抱えている問題点やそれらに対する活動など今後当法人が活動していくべき方向性を再確認できる機会となった。</p> <p>また、宿泊施設にはご理解を得て団体の受け入れをして頂き豊橋市内で割り当てることが出来た。</p> <p>昼食の給食も今回は食物アレルギーがある参加者がいなかったため特別な対応は発生しなかったが二者に発注することで弁当の仕出し、炊き出しが行われた。イベント時の食事提供を考える契機となり豊橋市内店舗へ貢献できたと考える。</p>
今後の見通し	<p>昨年度同等数の団体に参加いただき、帰省される際には「来年も来ます」との声をかけてもらった。今回具体的に豊橋産の特色や食文化を伝える機会がなかったため今後実施する際には昼食等のメニュー等で市をPR出来るようにしていきたい。</p> <p>他地域でも少子化問題や青少年が安心して安全に活動できる機会の減少は、問題であると意見があり、今回のような事業をより公益性を高く持ち継続して活動していかなければいけないと再認識した。</p> <p>運営に関しては、より多くの団体に参加していただけるよう宿舍や会場の確保、天候や気候に対する配慮、昼食時の食物アレルギー対応などを考慮し次年度へ繋げていきたい。</p> <p>また、公益性を高めるため豊橋市内の団体への告知や協力体制の構築を目指す。※本年度は草南中学サッカー部が参加された。</p>

事業の様子がわかる写真資料



昼食風景



サポートスタッフ

トレーナー活動

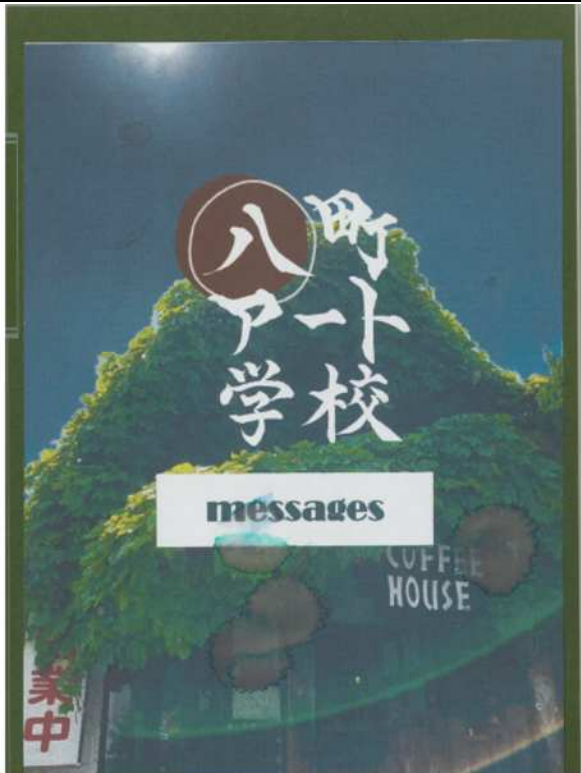


令和5年12月27日～29日 2023 全国ウインターカーニバル in とよはしの様子

団体名	カナデアンサポーターズクラブ
事業名	八町アート学校

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>子どもたちが文化・芸術体験を通じて、自由な発想や表現ができるよう、講師を招いて豊橋筆を使った日本画教室や自由な書道教室を開催する。</p> <p>1 日本画体験教室（令和5年8月1日）15名参加 2 書道教室（令和5年8月2日）22名参加</p> <p>総事業費：184,824円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>1 日本画体験教室 「絵を書くのが好き」という子どもに学校では扱うのが難しい画材を使った絵を描く体験を（絵の具をつくることから）してもらえた。大人には日本画の作成を通じて自分と向き合う時間をとってもらえた。 日本画を通じて日本でマンガが発展した由来や、日本画を制作するために必要な膠（にかわ）の生産（産業）、歴史を学んでもらえた。</p> <p>2 書道教室 子どもには学校から与えられたテーマではなく、書きたい文字を中心に書いてもらった。大人には草書やアート書体にも挑戦いただいた。 子どもからは率直に「描くことが楽しかった」と感想をもらった。大人達には、静かに文字と向き合っていたいただき「充実した」「楽しかった」「また筆を取りたいと思った」などの感想をいただいた。 アートは敷居の高いものではなく、誰の身近にもあること、自分の表現したいことを表現する楽しさを知っていただけた。</p>
今後の見通し	<p>イベントは好評で、参加者の方々にも満足いただけた。土日なら参加したかった、との声もあったため、次回は土日に実施してみたい。 日本画と書道をもう一度やりたい、という声もあるが、他のアートワークショップ（演劇や音楽、ダンス）の企画もしてみたい。</p>

事業の様子がわかる写真資料



日本画の部



書道の部

令和5年8月1日 日本画体験教室、令和5年8月2日 書道教室の様子

団体名	八町マルシェ
事業名	八町こどもマルシェ

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>住民同士の顔見知りを増やして地域の活性化を図るため、地域住民が垣根なく雑談できる場所や機会として「八町マルシェ」や「八町こどもマルシェ」を開催する。</p> <p>令和5年9月3日<八町こどもマルシェと八町こども食堂> 参加人数：こども30名程、大人20名程 学生とブラジル人女性ボランティアとともに、事前の打ち合わせの二回行い、本番を実施。 大人の口出しはさげ、アイデアから計画、事前準備、調理、販売を一貫してこどもたちが主体的となっ行って行った。</p> <p>令和5年12月3日<八町こどもマルシェと八町こども食堂> 参加人数：こども20名程、大人20名程度 前回参加した子どもたちの約半分がリピーターとして参加、事前の打ち合わせも4回に増やして同様に行う。 新たにボランティアを募集し、台湾人留学生、10代フリーター、学生と若者が協力してくれた。</p> <p>総事業費：54,235円（内補助金：50,000円）</p>
事業の成果等	<p>日頃から家庭で調理する機会のない子などが混ざった団体になったため、米を炊く前には洗うことを教えてもらっていたり、初めて包丁を握ったりして、こどもの「やりたい」を叶えられる場となった。</p> <p>2回とも違う国籍のボランティアが入ってくれたことで、日本と他の国の常識の違いなど、「料理」を通して学ぶことができ、相互理解につながったと感じる。</p> <p>また、こどもが好きでも関わる機会がなかった若者や外国人留学生が、小さい子供の可愛らしさ、小・中学生の逞しさなど、異年齢での関わり合いの楽しさを知ってもらえたようである。</p>
今後の見通し	<p>令和6年度は、くすのきの補助金を申請し、年齢、国籍を超えた子供達と地域の人々の関わり合いを促進し、学校ではできないことを地域で学んでもらえるようになっていきたい。具体的には、月2回の田んぼや畑活動、年3回のこどもによるこども食堂を計画。</p> <p>無農薬・無化学肥料でも作れるお米や野菜作りを通して、地域の四季や旬を知って自然に親しむこと、自分たちが作ってものを調理して食堂で提供すること、をこどもたちが主体となって考え、行動できるようサポートしていく。</p>

事業の様子がわかる写真資料

【9月】

【事前の打ち合わせ】



大学生主導により、緊張をほぐす手遊び歌よりスタート
保護者は入らず、すべて学生ボランティアと小・中学生で決める。



こども食堂のための買い物。
メモを見ながら子供達で相談、
計算しながら回る。



おにぎりの具がわかりやすいように、シールを作ってきてくれた中学生がいたので、それを貼っていく男子たち。



当日、こどもと一緒に調理。
ブラジル人女性が入り、
手振り身振りでコミュニケーションをとりながら取り組む。



【12月】



事前打ち合わせを公園に変更し、4回行う。

「何を発言してもいい」「話したくないときは話さなくていい」「他の人の意見を受け止める」心理的な安全をより心がけるようにした。前回より子供達の笑顔が増える。

今回は台湾人留学生と10代のフリーターの子がボランティアとして入ってくれた。二人ともこども好きだが、日本でこどもと遊ぶ機会がほとんどないのが、参加のきっかけだと言う。子供の参加者のほとんどが前回からのリピーターで事前の買い物は、こなれてきたが、衝突も増えてきた。



初めて包丁を使った子や、学校では保健室登校の子が、炊く前には米をとぐことを初めて知った。家庭の事情や学校で習う機会がない子どもたちも一緒に調理することができた。

低年齢のこどもほど「やりたい」気持ちが強くて、なんでも好奇心旺盛に手伝ってくれたが、大人の手も必要なため、ボランティア以外に保護者も手伝ってくれた。

閉店後の掃除や片付けも自分たちで。

お客さんと来ていたこどもが、途中から手伝いに入り、最後は食堂メンバーの子供よりしっかりと働いてくれた。みんなが集まってやっていると、遊びと捉えて楽しくなるのか、トイレ掃除も争奪戦で人気があった。



団体名	いいばしょ渡船村祭り
事業名	いいばしょ渡船村祭り

項目	内容	
事業の概要 (取組みの内容)	子どもたちが自分で課題を考えて、その解決について取り組む探求学習（消防署見学・MC講座等）を地域の人々と関わりながら行い、その成果を発表できる村祭りを開催する。	
	<p>OMC 講座 式場などで司会をしている方の指導のもと、言葉の表現方法や話し方の練習を楽しく行い、ラジオやTVでの広報、当日の司会で活躍してもらう。</p> <p>〇ピエロ講座 自己表現のスキルを身につけたり、メイクの練習をする。 ピエロとして会場を盛り上げることで自己肯定感の向上を見込む。</p>	
	8月25日 MC 講座	11名参加
	8月28日 ピエロ講座	10名参加
	8月29日 ピエロ講座	9名参加
	8月30日 MC 講座	4名参加
	9月12日 ピオトープ勉強会	6名参加
	9月21日 MC 講座	11名参加
	9月26日 MC 講座	11名参加
	9月29日 ラジオ出演	4名参加
	9月30日 いいばしょ渡船ミニ村祭り（プレ）	50名程参加
	10月4日 MC 講座	11名参加
	10月20日 MC 講座	9名参加
	10月24日 ラジオ出演	2名参加
	10月24日 MC 講座	8名参加
	10月26日 ティーズ出演	2名参加
	10月27日 ラジオ出演	4名参加
	10月30日 MC 講座	8名参加
	11月4日 いいばしょ渡船村祭り	100名程参加
	11月20日 反省会	25名参加
	総事業費：72,882 円 （内補助金：50,000 円）	
事業の成果等	<p>子どもの、「探求学習をやってみたい」という想いをかなえられるように活動し、子どものペースや発想を尊重し見守ることができた。</p> <p>大人たちも充実感がとても大きく、今回の活動のような組織や時間の必要性を感じた。</p> <p>自主性を重んじることにより、普段何をするのも「言われたからやる」という生活だった子どもが主体的に動けたことや、多世代・多様性の中での活動から新しい発見や刺激を得ることができた人たちも多くいたことから、地域で育ちあうことへの効果が見られた。</p> <p>また、一律を平等とするのではなく、やりたいことを全力でやると</p>	

	<p>いう組織作りは子供から高齢の方まで誰もが無理なく関わることができることが分かった。立場の違う人々が集まることで学ぶことも多く今の社会に必要な取り組みであると感じた。</p> <p>MC 講座ではラジオ局、ティーズの協力もあり、受講者が人前で話すことの自信をつけることができた。</p> <p>11月4日の渡船村祭り当日にラジオを聞いて感動してきた方からの声や、多くの方から声をかけてもらい更にチャレンジする力をもらった。その後他のイベントからオファーをいただくなど動き始めている。</p> <p>また、この活動に共感し地域の高校の先生が参加したいと声をかけてもらった。</p> <p>活動を継続することで、地域と関わりながら子育てができるママが増えたり、学校以外の学びの場を持ち、そこで成長していく子供たちが増えたり、ハンディキャップの部分も含め「これでいいんだ」って言える人が増えたり、老後が楽しくなる人が増えるなどが期待できる。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>渡船の河川敷を使用するため豊橋の土木課、ミズベリング企画のため国交省河川事務所と連携しましたが、前例の少ないケースだったため、スムーズにいかない部分があった。</p> <p>予定外の支出が出ることなどあったため、しっかり話を詰めていきたい。時間が無くなってくるとだんだん計画通りにいかないこともあり、余裕をもって動いていく必要があると感じた。令和6年も表現の場としていいばしょ渡船村祭りを開催する予定。</p>

事業の様子がわかる写真資料



MC 講座



ティーズ出演 (MC キッズ)



ヤシの実FM 出演 (MC キッズ)



ピエロにチャレンジ



いいばしょ渡船村祭りでの集合写真

団体名	リバーサイドボランティア (RSB)
事業名	豊川河川敷の清掃整備活動

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>ゴミの不法投棄、タバコの投げ捨てによる火災、樹木の巨大化等で環境・景観の悪化を招いてきたため、河川敷の清掃整備を行い、樹木整備・遊歩道整備を行う。</p> <p>河川内遊歩道の環境整備をすることで、地域住民のまちづくり意識の向上、健康面での遊歩道活用が出来、結果として市の健保財政面への寄与も図れると考えた。令和5年度は12回286名のボランティア参加者があった。開始時からの累計参加者は856名。</p> <p>中学生ボランティアを実施することで、初めての地域社会貢献への参加が図られ、地域に根付く意識の向上が図れると考えた。結果として年間97人の中学生ボランティア参加者があった。累計160名参加。</p> <p>地元消防団、防災組織の訓練場所として小学校活用しており、周辺からの騒音苦情もあったが解決策として河川敷での実施を考えた。結果として国交省も防災訓練に活用することとなった。単独開催難しくなっている校区催しに対し、下地、大村、津田校区合同でのイベント会場としての活用を検討していく。</p> <p>総事業費：223,373円（内補助金：120,000円）</p>
事業の成果等	<p>アダプト協定結び清掃活動する中で、国交省も河川敷を活用する計画を実施することとなった。</p> <p>町内回覧、市民館ポスター掲示、中学生ボランティア募集、自治会との連携を行うことで年間参加者は前年から78名増加できた。</p> <p>中学生ボランティアは校長、教頭の協力を得た97名参加となった。内10名を自治会・本団体で表彰し感謝を伝えた。</p> <p>祇園打ち上げ花火の観覧場所としても最適であり、地元以外の県外からの人も含む多くの方が本団体で整備している河川敷から観覧をされていた。ただ地区市民館駐車場及びトイレの活用も多く誘導員の配置をしない為市民館運営に困難をきたしたので配慮が必要と感じた。</p>
今後の見通し	<p>今後もアダプト協定に基づき国交省の支援も受けながら地道に清掃活動を維持し、町内の参加者増加を図りながら保護者同伴の小学生ボランティア参加も図っていき、中学生も含めた若年層の参加増加を図り、積極的な継続性維持に取り組んでいきたい。</p> <p>河川敷の有効活用については、下地、大村、津田校区合同でのイベント開催、消防団訓練、国交省防災訓練以外の地元防災組織訓練、小学校授業活用等も考えられ、河川敷全体の清掃整備も考え活動していく。</p> <p>遊歩道については、市はとよ橋からの堤防沿いを広報していると思われるが、是非吉田大橋からの整備を図り牛川の渡しを渡りトヨタ自動車のボランティアが整備されている道を通り豊橋公園までのルートを設定して欲しい。アリーナ開業時の環境に配慮した有効な宣伝にもなると考えられる。</p>

事業の様子がわかる写真資料



集合写真



参加した中学生ボランティア



草刈り機での除草作業



草刈り機で刈った草の運搬

団体名	豊橋商工会議所青年部
事業名	豊橋愛で未来のまちづくり

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>豊橋には市内外に誇れる多くの魅力があるため、市民に向けてスポーツを軸としたイベントを開催して豊橋の魅力を発信し、市民が豊橋の魅力を再発見できる取り組みを行う。</p> <p>6月18日に実施した事業 「スポーツ×育む」をテーマにスポーツをただ推奨するだけでなく、親を含めた周りの環境で未来ある子供たちのスポーツにかかわる環境の提唱を行うため、未就学児に体の動かし方、食育をテーマに講演を実施した。 また地元のスポーツ選手と触れ合いを持つことで憧れの醸成、地域のスポーツの根差しも目的とした。参加者：1,750名</p> <p>12月6日に実施した事業 スポーツで「豊橋にエール！」をテーマに三遠ネオフェニックスの試合会場で独自の声出し声援を実施。 声を出した応援が解禁された中での豊橋らしいエールとは何かという議論の中で、豊橋がどの地域よりも声を出せる地域にしようという思いから、試合会場でオリジナル紙メガホンを配布。 試合前、ハーフタイム中に観客の方に趣旨・思いを説明。 会場への来場者：4,290名</p> <p>総事業費：570,550円（内補助金：300,000円）</p>
事業の成果等	<p>両事業とも参加いただいた方にはスポーツが豊橋のまちづくりを担うピースであるというメッセージは伝わったと手応えを感じている。 また、イベントに参加した小学生のクラブチームでは個々に活動を広げていっているチームも見られた。</p>
今後の見通し	<p>今回はバスケットが中心となったが、スポーツを中心に発信、まちづくりをしている自治体、自分たちのような団体は数多く存在する。 成功、失敗はあるが、スポーツで街が盛り上がるというのは事実として存在し、自分たち豊橋商工会議所青年部もその意味で活動している。 唯一の課題はどのような課題に対しても当事者という意識で大きくも小さくもなる。 産・官・学の協働で今回のような事業を行い、より大きなことをしたほうがこれからの豊橋に繋がると感じた。</p>

事業の様子がわかる写真資料



6月に実施した事業の様子



12月に実施した事業の様子

団体名	豊商プログラミング教室
事業名	豊商プログラミング教室

項 目	内 容															
事業の概要 (取組みの内容)	<p>商業高校の生徒が授業で学んだプログラミングの知識を活かして、近隣の小中学生向けにプログラミングの楽しさを伝えるための教室を実施する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">8月7日</td> <td style="width: 60%;">豊橋商業高校にて実施</td> <td style="width: 25%;">中学生40名参加</td> </tr> <tr> <td>8月25日</td> <td>豊橋商業高校にて実施</td> <td>中学生20名参加</td> </tr> <tr> <td>11月14日</td> <td>向山小学校にて実施</td> <td>小学生70名参加</td> </tr> <tr> <td>11月21日</td> <td>中部中学校にて実施</td> <td>中学生40名参加</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>中部中学校にて実施</td> <td>中学生40名参加</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">総事業費：99,930円（内補助金：99,000円）</p>	8月7日	豊橋商業高校にて実施	中学生40名参加	8月25日	豊橋商業高校にて実施	中学生20名参加	11月14日	向山小学校にて実施	小学生70名参加	11月21日	中部中学校にて実施	中学生40名参加	11月28日	中部中学校にて実施	中学生40名参加
8月7日	豊橋商業高校にて実施	中学生40名参加														
8月25日	豊橋商業高校にて実施	中学生20名参加														
11月14日	向山小学校にて実施	小学生70名参加														
11月21日	中部中学校にて実施	中学生40名参加														
11月28日	中部中学校にて実施	中学生40名参加														
事業の成果等	<p>○向山小学校におけるプログラミング教室 ロボットカーが黒色と白色を判断し、道の上を走るプログラムを作成した。予定通り30分ほどで完成し、10分はスピードを変更したり、道を広げたり、プログラムに工夫を加えることができた。</p> <p>○中部中学校におけるプログラミング教室 ロボットカーが一定距離で人についてくるプログラムと、ロボットカーを振る強さで走る距離が変わるプログラムを作成した。 一つ目のプログラムは苦戦する生徒が多かったが、2つ目は要領やコツをつかみ、中学生自ら説明を見ながら進めることができた。 プログラムのどの部分を変更すると動きを変えられるか、試行錯誤しながら新しいプログラムを追加する生徒もいた。</p>															
今後の見通し	<p>生徒によって進むペースが違うため、進め方に工夫が必要だと感じた。また作成した説明書を見て自分で進めていく生徒もいたので、説明書の工夫も必要であると感じた。内容的には丁度よかったと感じたが、今後も小中学校でプログラミング教育を行っていくので、内容の改善は必要である。</p> <p>小中学生がこの講座を通して「楽しかった」と思ってくれたことが大成功である。またさらにプログラムを改変するために多くの質問を受けたことも、この講座を実施した意義があったと思う。</p>															

事業の様子がわかる写真資料



○豊橋商業高校でのプログラミング教室

豊橋商業高校のパソコン教室にて、マイクロビットを使って Tinybit スマートロボットカーを走らせるための授業を実施(写真左)

プログラミング画面 (写真右)



○向山小学校でのプログラミング教室

向山小学校のパソコン教室にて、班に分かれてプログラミング (写真左)

作ったプログラムをスマートロボットカーに転送し走らせて確認 (写真右)



○中部中学校でのプログラミング教室

中部中学校のパソコン教室にて、講義形式でのプログラミング授業 (写真左)

作ったプログラムをスマートロボットカーに転送し走らせて確認 (写真右)

団体名	SDGs 新商品クラウドファンディング・プロジェクト
事業名	SDGs 新商品クラウドファンディング・プロジェクト

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>学生たちがカフェと連携してコーヒーの残滓を活用した土に還るお皿等を開発するために必要なテストマーケティングなどを行う。</p> <p>1 豊橋創造大学（創造祭）学園祭 日時：令和5年10月28日 9:00～17:00 場所：豊橋創造大学内 A22 教室 参加人数：380名 実施概要：活動パネル展示、動画放映、SNS 紹介/フォロワー集め等</p> <p>2 Let's エコアクション in Aichi 日時：令和5年11月3日 10:00～16:00 場所：豊橋公園 参加人数：80名 実施概要：活動パネル展示、SNS 紹介/フォロワー集め、 新商品候補展示、意見徴収、チラシ配布</p> <p>3 emCAMPUS イベント 日時：令和6年2月3日 10:00～16:00 場所：emCAMPUS 1階イベントスペース 参加人数：170名 実施概要：活動パネル展示、動画放映、SNS 紹介/フォロワー集め、 パネルディスカッション、記者会見</p> <p style="text-align: center;">総事業費：136,496 円（内補助金：61,000 円）</p>
事業の成果等	<p>1 SDGs について理解から行動へ移し、体験を周知する。 →自分たちの活動の具体的な内容を多くの人たちに紹介し、理解賛同が得られた。SNS のフォロワー総数は 514 名を獲得した。</p> <p>2 豊橋を中心とした東三河の良さと SDGs 商品を広げる。 →クラウドファンディングを通じて、サステナビリティ・コーヒー及びSDGs 啓発書籍を広く紹介できた。約 40 万円以上（約 100 名）のクラウドファンディング支援が得られた。</p> <p>3 産学官金のスキームを通じて、多くの人たちと交流を図り、理解促進する。 →ファーマーズパッション、豊橋創造大学、豊橋市役所、豊川信用金庫の包括的連携によって、多くの人たちと交流/理解促進が図れた。</p>
今後の見通し	<p>1 事業実施後の課題 →クラウドファンディングを通じたテストマーケティングの分析結果を活かして、具体的に、さらなる市民への理解及び市場への導入を進めること。</p> <p>2 今後の取り組み →当該プロジェクトを後輩に引き継いでいく予定</p>

事業の様子がわかる写真資料



令和5年10月28日豊橋創造大学（創造祭）学園祭の様子



令和5年11月3日 Let's エコアクション in Aichi の様子



令和5年2月3日 emCAMPUS イベントの様子

団体名	カーボンニュートラル研究会
事業名	言語・性別・年齢関係なし！SDGs を遊んで学ぶ SDGs モルックの実装！

項目	内容
事業の概要 (取組みの内容)	<p>フィンランド発祥の投てき競技「モルック」をSDGsが学べるようにアレンジし、地域イベントに出展する。イベント参加者がモルックを通じてSDGsを学ぶ機会を提供する。</p> <p>本活動の目的は、小学生から高齢者、外国人など様々なバックグラウンドをもつ同じ地域に住む方々がSDGsを効果的に学ぶことである。そこで、本団体は、オリジナルゲームとしてSDGsモルックを開発した。SDGsモルックは、性別や年齢を問わずに行えるフィンランドの伝統的なスポーツであるモルックに、SDGsの17の目標を掛け合わせたものである</p> <p>SDGsモルックでは、同じチームのメンバーで協力して目標である50点を目指し、17のスキttl(木柱)を倒す経験をすることができる。</p> <p>さらに自チームの番が始まるときにSDGsの17の目標を書いたカードを1枚選んで暗記してもらい、自チームの番の後に答えることができるともう1回自分の番を追加できる。カードには英語版、ひらがな版を用意し、外国人や子どもと一緒にSDGsを学びながらゲームを楽しめるように工夫している。</p> <p>令和5年11月12日開催された豊橋市インターナショナルフェスティバルに出展、47名の参加者にSDGsモルックを通してSDGsに親しんでもらった。</p> <p>総事業費：3,190円(内補助金：3,000円)</p>
事業の成果等	<p>主体的に体を動かしながら“楽しく”言語・年齢・性別に関係なくチームで協力して一つの目標を目指して、SDGsを学んでもらうことができた。また、SDGsを通して、言語・年齢・性別に関係なく多くの人と交流してもらうことができた。</p> <p>特に今回の豊橋市インターナショナルフェスティバルでは、東三河5市(豊橋市、田原市、蒲郡市、新城市、豊川市)と豊橋市の3大学(愛知大学、豊橋創造大学、豊橋技術科学大学)の計8チームでトーナメントを組み、8チームの方々がSDGsモルックを通して交流していた。</p> <p>モルックという日本ではまだあまり普及していない、年齢、性別に関係なく楽しめる海外のゲームとSDGsを掛け合わせたことで、小学生低学年の子供から高齢の参加者の方まで一緒に楽しんでもらうことができた。</p>

今後の見通し

今後の活動としては、SDGs モルックを用いて、SDGs モルックの大会の開催や様々な地域のイベント、大学の学祭に参加したいと考えている。

また、SDGs モルックは、SDGs のことを知り、チームで協力しながら目標を達成することを目的としたゲームであったため、より SDGs を身近に感じてもらえ、より深く SDGs を知り、自分のできることを考えてもらえるようなオリジナル SDGs ゲームを開発したいと考えている。

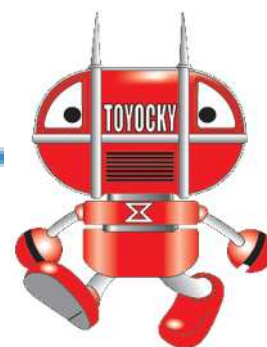
インターナショナルフェスティバルの SDGs モルックをトーナメント形式で行い、参加者には試合がない時間はフェスティバルを楽しんでもらったが、他のイベントに参加した場合、待ち時間の間に楽しみながら SDGs を学べる教材やゲームを製作したい。

事業の様子がわかる写真資料



令和5年11月12日豊橋市インターナショナルフェスティバルへ出展したSDGs モルックブースの様子

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇マッチングギフト方式でみなさまからの寄附と同額を市からも積み立てるので、寄附の効果は2倍になります！

◇市民協働推進補助金は市民の皆さんの寄附等による市民協働推進基金（トヨッキー基金）が財源となっています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL：0532-51-2188

FAX：0532-56-5128

MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp